



平成 29 年 6 月 29 日

各 位

会社名 三井造船株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 田中 孝雄  
 (コード：7003、東証第一部)  
 問合せ先 財務経理部長 三宅 一徳  
 (TEL 03-3544-3225)

(訂正・数値データ訂正)

「平成 29 年 3 月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正に関するお知らせ

平成 29 年 4 月 28 日 に発表いたしました「平成 29 年 3 月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部に訂正すべき事項がありましたので、下記のとおりお知らせいたします。また、数値データにも訂正がありましたので訂正後の数値データにつきましても送信いたします。

なお、訂正箇所には下線を付して表示しております。

記

1. 訂正の理由

「平成 29 年 3 月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の発表後に連結キャッシュ・フロー計算書の当連結会計年度の数値及び連結財務諸表に関する注記事項の一部に誤りがありましたため、訂正するものがあります。

2. 訂正の内容

<サマリー情報>

1. 平成 29 年 3 月期の連結業績 (平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

【訂正前】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
29 年 3 月期	<u>△7,730</u>	<u>△28,866</u>	19,401	115,620
28 年 3 月期	29,802	△34,599	48,216	135,747

【訂正後】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
29 年 3 月期	<u>△7,843</u>	<u>△28,753</u>	19,401	115,620
28 年 3 月期	29,802	△34,599	48,216	135,747

<添付資料 5 ページ>

1. 経営成績等の概況

(2) 当期の財政状態の概況

②連結キャッシュ・フローの状況

【訂正前】

②連結キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純利益340億14百万円、減価償却費185億76百万円、売上債権の減少による収入107億83百万円、減損損失50億90百万円などがあった一方、固定資産処分益262億4百万円、仕入債務の減少による支出444億67百万円、持分法による投資利益55億48百万円があったことなどにより77億30百万円の支出となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形及び無形固定資産の売却による収入376億94百万円、貸付金の回収による収入503億53百万円などがあった一方、有形及び無形固定資産の取得による支出202億37百万円、投資有価証券の取得による支出45億41百万円、関係会社株式の取得による支出78億81百万円、貸付けによる支出834億93百万円があったことなどにより288億66百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の純減少による支出141億74百万円、長期借入金の返済による支出323億14百万円、配当金の支払額32億20百万円及び非支配株主への配当金の支払額18億64百万円があった一方、長期借入れによる収入576億9百万円及び社債の発行による収入150億円などがあったことにより194億1百万円の収入となりました。

この結果、当連結会計年度末の現金及び現金同等物の残高は1,156億20百万円となりました。

【訂正後】

②連結キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純利益340億14百万円、減価償却費185億76百万円、売上債権の減少による収入107億83百万円、減損損失50億90百万円などがあった一方、固定資産処分益262億4百万円、仕入債務の減少による支出444億67百万円、持分法による投資利益55億48百万円があったことなどにより78億43百万円の支出となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形及び無形固定資産の売却による収入376億94百万円、貸付金の回収による収入503億53百万円などがあった一方、有形及び無形固定資産の取得による支出202億37百万円、投資有価証券の取得による支出45億41百万円、関係会社株式の取得による支出78億81百万円、貸付けによる支出834億93百万円があったことなどにより287億53百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の純減少による支出141億74百万円、長期借入金の返済による支出323億14百万円、配当金の支払額32億20百万円及び非支配株主への配当金の支払額18億64百万円があった一方、長期借入れによる収入576億9百万円及び社債の発行による収入150億円などがあったことにより194億1百万円の収入となりました。

この結果、当連結会計年度末の現金及び現金同等物の残高は1,156億20百万円となりました。

<添付資料 12・13 ページ>

3. 連結財務諸表及び主な注記

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

【訂正前】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成 27 年 4 月 1 日 至 平成 28 年 3 月 31 日)	当連結会計年度 (自 平成 28 年 4 月 1 日 至 平成 29 年 3 月 31 日)
営業活動によるキャッシュ・フロー (中略)		
その他	△183	△346
小計	34,477	△7,819
(中略)		
営業活動によるキャッシュ・フロー	29,802	△7,730
投資活動によるキャッシュ・フロー (中略)		
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による 支出	△15,154	△879
(中略)		
投資活動によるキャッシュ・フロー (省略)	△34,599	△28,866

【訂正後】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成 27 年 4 月 1 日 至 平成 28 年 3 月 31 日)	当連結会計年度 (自 平成 28 年 4 月 1 日 至 平成 29 年 3 月 31 日)
営業活動によるキャッシュ・フロー (中略)		
その他	△183	△459
小計	34,477	△7,933
(中略)		
営業活動によるキャッシュ・フロー	29,802	△7,843
投資活動によるキャッシュ・フロー (中略)		
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による 支出	△15,154	△766
(中略)		
投資活動によるキャッシュ・フロー (省略)	△34,599	△28,753

<添付資料 16 ページ>

3. 連結財務諸表及び主な注記

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等)

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

【訂正前】

前連結会計年度 (自 平成 27 年 4 月 1 日 至 平成 28 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	船舶	海洋 開発	機械	エンジニアリ ング	計				
(省略)									
その他の項目									
減価償却費	3,495	5,652	3,626	1,635	14,410	3,169	17,580	364	17,945
のれんの償却額	<u>527</u>	<u>386</u>	-	8	921	-	921	-	921
減損損失	-	-	6	-	6	-	6	335	341
有形固定資産及び 無形固定資産の増 加額	11,464	4,413	6,959	1,529	24,367	1,552	25,920	907	26,827

【訂正後】

前連結会計年度 (自 平成 27 年 4 月 1 日 至 平成 28 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	船舶	海洋 開発	機械	エンジニアリ ング	計				
(省略)									
その他の項目									
減価償却費	3,495	5,652	3,626	1,635	14,410	3,169	17,580	364	17,945
のれんの償却額	<u>431</u>	<u>481</u>	-	8	921	-	921	-	921
減損損失	-	-	6	-	6	-	6	335	341
有形固定資産及び 無形固定資産の増 加額	11,464	4,413	6,959	1,529	24,367	1,552	25,920	907	26,827

以上